

親子部会 活動報告

テーマ：	＊発達のご案内になる子どもと保護者が一緒に参加できる活動を企画・運営し、成長、子育てを支援する。 ＊発達のご案内になる子どもの支援にかかわる機関のネットワークを作り、お互いの支援力を高める。		
日時	場所	参加人数	内容
4月22日（金） 10:00～11:30	須磨区役所	2名	すまっこナビ説明会広報担当者会議 ・案内チラシ文案の検討 ・チラシ作成、広報場所、スケジュールの確認
5月20日（金） 10:00～11:30	きたすま障害者相談 支援センター	4名	すまっこナビ作業チーム会議 ・情報冊子「すまっこナビ」の改訂内容の確認
5月27日（金） 10:00～11:30	きたすま障害者相談 支援センター	18名	定例会 ・今年度のねらいとスケジュールの確認 ・すまっこナビ説明会（7/7）について
6月22日（水） 10:00～11:30	須磨区役所	16名	定例会 ・すまっこナビ説明会（7/7）について
7月7日（木） 10:00～11:30	須磨区役所	27名	すまっこナビ説明会 ・情報冊子「すまっこナビ」の内容説明 ・意見交換会
9月30日（金） 10:00～11:30	須磨区役所	13名	定例会 ・すまっこナビ説明会の振り返り
10月21日（金） 10:00～11:30	きたすま障害者相談 支援センター	10名	事業所交流会打ち合わせ ・事業所交流会の内容について
12月2日（金） 10:00～11:30	須磨区役所	12名	事業所交流会 ・業務継続計画（BCP）の作成について情報交換 及びグループワーク ・次回の事業所交流会（2月）について
2月17日（金） 10:00～11:30	須磨区役所	20名	事業所交流会 ・事例を通じた勉強会
3月17日（金） 10:00～11:30	須磨区役所	15名	定例会 ・事業所交流会（12/2、2/17）の報告 ・今年度の振り返り ・2023年度の活動内容について

(すまっこナビ説明会)

【成果】

- ・意見交換会では、学校や放課後等デイサービスのことを知りたい親御さんが多いことがわかった。
- ・保護者や事業所から質問が多数出て、発言した保護者と事業所が繋がる機会となった。
- ・説明会が保護者の話を聞ける場所となり、一緒になって子ども達の将来のことをサポートするという姿勢を伝えるきっかけになってきている。

【課題】

- ・すまっこナビ冊子をより多くの親御さんに知ってもらい、発達気になるお子さんを育てる親御さんをバックアップできる説明会にしていく必要がある。
- ・「何とかしたい」という思いで作った冊子であるため、保護者の方にもっと説明会に参加してほしい。
- ・申し込み方法を見直し、案内チラシを早めに作成する必要がある。

(事業所交流会)

【成果】

- ・業務継続計画（BCP）の作成にあたり、共通する疑問を出し合い、研修等の情報共有をすることができた。また、火災や事故などにより事業所を開所できなくなった場合に、事業所間で助け合う仕組みが作れないかという意見があがった。
- ・須磨区役所・北須磨支所保健福祉課こども保健担当の担当係長および担当者を招き、虐待（家庭内において養育困難な状況）が疑われる事例を通じた勉強会を開催できた。事例のような場合に事業所がどのような手順でどこに相談をすれば良いのかを知ることができた。また、勉強会の開催後は、事例提供者が所属する事業所内の職員カンファレンスで振り返り、対象のご家族にも相談先（保健福祉課こども保健担当）について情報提供ができた。

【課題】

- ・業務継続計画（BCP）は作成できていない事業所が殆どで、困っている。
- ・利用児童に対する職員の言動や対応について、日頃気になっていること等を事業所間で共有したい。

(動作法研修について)

【成果】

- ・コロナ禍により開催はなし。

【課題】

- ・動作法はその場の臨場感や人と人との触れ合い、空気感があってこそのものであり、コロナ禍においては少人数でも実施は難しかった。

【2023年度に向けて】

- ・すまっこナビ説明会により多くの保護者に参加してもらうため、申込方法を見直し、広報活動に力を入れる。
- ・業務継続計画（BCP）は各事業所が作成したものを持ち寄るなどし、情報交換できる場を企画する。
- ・事例検討会や勉強会は、職員に対して還元ができる（職員のスキルがあがる）ため続ける。
- ・動作法研修に代わり、保護者の方も参加できる協調性発達運動障害についての講演会を企画する。